

えんど久子市議も参加 九電に要望

川内・玄海原発の再稼働やめよ

九電のグループ長に、再稼働中止を求める要望書を手渡す松崎真琴
鹿児島県議と各県の代表。手前から2番目がえんど久子市議。

九州7県の日本共産党県委員会と九州沖縄ブロック事務所の代表27名は、6月3日九州電力本社を訪れ、川内原発と、玄海原発の再稼働中止と申請取り下げを求めました。堤栄三大分県議・猿渡（えんど）久子別府市議も参加しました。



再稼働ありきの の姿勢を批判

【共産党】 重大事故が起きれば、約90分前後に格納容器からの放射能漏れが始まる。一方、原発30キロ圏の住民全員が圏外に出るまで玄海では約22時間、川内では約29時間かかることとされた。そもそも避難計画が成り立たないのに、どうして再稼働させるのか。

【九電】 事故が発生したとき、迅速な情報提供が私どもの一番の役割。避難計画について、当社が何をするのか、決ったものはない。

いまの自治体の避難計画に病院や介護施設の対策は入っていません。各県の代表は、道路渋滞、離島の限界など、具体的事例をあげて、「逃げようにも逃げられない」現実を突きつけました。避難計画は自治体まかせ、それがどうであろうと再稼働ありきの九電の姿勢を交渉団は批判しました。

別府市議会HPで本会議の録画をご覧ください。日本共産党別府市議団やえんど久子のHPもご覧下さい。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.607
2014.6.11.

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

堤県議えんど市議九電を批判

なぜ 原発にしがみつく

自然エネルギーに転換を

堤榮三大分県議（大分市選出）は「大分県は川内・玄海・伊方の3つの原発に囲まれている。自然エネルギーに切り替えるべき。地熱発電所の職員は自負を持って仕事をしている」と発言。

えんど久子別府市議は「避難なんて無理だ。自然エネルギーに切り替えるべきで、その方が企業イメージとしてもよいはず。なぜ原発にしがみつくなのか」と発言。

九電は「再生可能エネルギーに特化した会社も作り力を入れている。地熱など有効と思っている」というものの「原発はエネルギー政策として重要だ」と原発にしがみつく姿勢です。

最後に松崎真琴鹿児島県議は「責任ある回答ではなかった。ますます九電の再稼働ありきの姿勢がはっきりした。原発再稼働をやめて廃炉への道をすすんでもらいたい」と強く求めました。



福井地裁判決に ノーコメント

【共産党】 大飯原発3、4号機の再開差し止めを命じた福井地方裁判所の判決を、同じ電力会社としてどう受けとめているのか。

【九電】 係争中につきコメントできない。

【共産党】 福井地裁の判決は、憲法で保障された人格権を守ること以上に大切なことではないとして、原発再稼働にストップをかけた。この判決は、九電を含むすべての電力会社に対しても投げかけられたものだ。真摯に受け止めて、再稼働を断念すべきだ。

